

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成24年度第4回定例会会議記録
開催日時	平成24年7月25日（水曜日） 18時30分から20時30分まで
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：野澤校長、上田校長、大島眞之、千葉佳子、畠山昭裕、須磨田純子、馬場真由美、西原みどり、加藤真理、渡辺文子、福島憲子、中曽根聡、新藤浩伸、萩原建次郎 職員：相原館長、大平主幹、川口館長補佐、小笠原分館長、長谷部分館長、平井分館長、石川分館長 伊佐柳沢公民館職員
欠席者	委員
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1.平成24年度第3回定例会の記録について 2.報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 都公連委員部会運営委員会報告 3.事業計画書・事業報告書について 4.協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 公民館のチラシ及びポスター掲示の指標（案） (2) 東京都公民館大会に向けて 5.事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	<ol style="list-style-type: none"> (1) 平成24年度西東京市公民館運営審議会第4回定例会の開催について（通知） (2) 平成24年度第3回定例会会議録 1ページ～5ページ (3) 平成24年度公民館主催事業計画書 14件（6ページ～19ページ） <ol style="list-style-type: none"> 1.キャンプの力 大自然の中でふれあいキャンプを（柳沢） 2.自然の色を楽しもう！ ウールを染めて小物づくり（柳沢） 3.ボタニカルアート講座（植物細密画）（田無） 4.国際理解講座1「市民として考える国際協力」（田無） 5.国際理解講座2「楊さんのフランス留学談 フランス文化と会話の基礎を学ぼう」（田無） 6.小学生までの子どもをもつ女性の講座「子育ての中にキャリアデザイン」（芝久保） 7.平和を考える講座 現代的課題から平和を考える（芝久保） 8.健康講座「ヨガテイス」（芝久保） 9.古典講座「暮らしに生きる陰陽五行」（芝久保） 10.とどけよう！子どもの心におはなしを（谷戸） 11.「発見しよう！絵本ワールド」 親子の真ん中に絵本を（谷戸） 12.女性講座 キモチつながるここちよく（ひばりが丘） 13.セカンドライフ講座 身体匠工房（ひばりが丘） 14.お手玉作りをお裁縫からはじめると（保谷駅前） <ol style="list-style-type: none"> (4) 平成24年度公民館主催事業報告書 4件（20ページ～23ページ） <ol style="list-style-type: none"> 1.アロマセラピー講座（芝久保） 2.親子リトミック講座 音に合わせて愉しくからだを動かそう（ひばりが丘） 3.親子で体験！防災講座（ひばりが丘） 4.ペーパーライダーの工作と飛行実験（保谷駅前） <ol style="list-style-type: none"> (5) 公民館だより編集室報告（別紙） (6) 公民館Q&A（別紙）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り 無し

会議内容

議事

1.平成24年度第3回定例会の記録について（承認）

2.報告事項

(1) 行政報告

- ・第1回教育計画策定懇談会には大島委員が出席。審議内容の推移は今後逐次報告予定。

(2) 公民館だより編集室報告（以下『・』は委員発言、『→』は職員回答）

- ・詳細は添付の報告書のとおり。
- ・印刷会社への要望、改善はどのような形で行っているのか。担当職員が行っている。
- ・状況に応じ館長が直接行う必要も考慮頂きたい。
- ・公民館だよりに掲載されたイラストを今後公民館のキャラクターとして利用可能か
→市のキャラクターがあるので公民館独自のキャラクターとしての使用は難しいとのこと

(3) 都公連委員部会運営委員会報告

- ・7月15日に第1回研修会を行なう。公運審委員55名、市民2名、市職員3名が出席、講師の萩原健次郎委員から初めて公民館と公民館運営審議会の意義を考える主旨の講演を頂いた。
- ・西東京市からは7名が参加、講演後青少年の居場所作りと今後の展望が話し合われた。又役員会で今後構成市（12市）の枠を広げる方途を検討した。

出席者の感想

- ・教育とはサービスではなく贈与であるとの言葉が印象に残った。
- ・中、高生の居場所として、公民館を活用する仕掛けを考えて行きたい。
- ・多くの意見・感想が寄せられ関心を持って頂いた。公民館が切っ掛けで地域に入って行けた事例が多々あることが報告された。アンケート、意見は集計中、記録が出来次第お見せしたい。
- ・提言や答申を作ることも必要だが、同時にこれをベースに何を実践するかが大事。今後は公民館の防災機能に取り組んで行きたい。
- ・町田市は公民館の名称に拘らず都公連に参加している。社会教育に携わる様々の方の交流、情報交換の場として、公運審以外の方の参加者も拡大して募って行きたい。

3.事業計画書・報告書について（『・』は委員質疑・意見、『→』は職員回答）

(1) 事業計画書について

キャンプの力 大自然の中でふれあいキャンプを（柳沢）

講師、日程の変更を報告。内容は変わらない。

- ・企画書に明記された対象者の参加申し込みの具体的方法及び公民館だより広報にはどのような表現で掲載するのか。
表現を工夫しての広報を検討中又、家族が子供に情報を提供し参加を促したい。
- ・意欲ある挑戦には賛同したい、引きこもりは個々の要因があるので対応も難しい。

・事前面談、事業を通じて社会と繋がるひとつの契機になることを期待したい。

・以前の講座で引きこもりの子供が参加したケースがあった。今までの事例を基に今後の展開を期待したい。

→初めての試みで不安もあるがモデルケースとして取り組みたい。引きこもりの方の社会参加の場の一つとして公民館を考えている。

とどけよう！子どもの心におはなしを（谷戸）

・時間帯はいつか

保育付きの事業で10時～12時実施予定。

国際理解講座2「楊さんのフランス留学談 フランス文化と会話の基礎を学ぼう」（田無）

・前回の定員は60人、今回は交流を重視の為20人の定員と思われるが度々意図があるか。

国際理解講座1も同様 今年度は50名定員を2回募集相互学習の形態をとり問題に向けて理解から行動のおこせる人を目指している。国際理解講座2は留学経験の有る講師と参加者間の相互交流を行う。日程回数も講師と相談、午前は利用率も高く通常の活動団体を優先午後の時間帯に実施。

ボタニカルアート講座（植物細密画）（田無）

・新しい参加者との経験者が交流を持つことはサークルを作る契機となる。既存のサークルの加入にも繋がる。

自然の色を楽しもう！ ウールを染めて小物づくり（柳沢）

・ロビー等を活用して作品の成果発表、展示の場を設けて頂きたい。

平和を考える講座 現代的課題から平和を考える（芝久保）

・どの様な形で中・高生を呼び込み連携を図るのか。

市内の中学高校にちらしを配布、近隣のPTAの会議に直接参加事業を紹介する。

・昨年に引き続き大学生も内容に関与していくのか。

今回は内容に直接関わる予定はない。

・中高生が大学生と直に触れ合い、意見交換する場を設けることも有意義な事業展開と思われる。

・以前戦争体験者の証言を聞く会を催したが学校に受け入れてもらう余地はあるか

・学習指導要領の基、学校の計画は目一杯である。学校のカリキュラムの年間計画に当初組み込めれば可能とおもわれる。

古典講座「暮らしに生きる陰陽五行」（芝久保）

・戦後日本の精神史発掘と陰陽五行との関係および広報の仕方。

戦後日本の精神史と陰陽五行の直接的な関係は判り辛いですが、大きな時代の変化の中で日本人の心象に陰陽五行がどの様に影響したかが判るポスター、チラシの工夫を試みたい。

「発見しよう！絵本ワールド」 親子の真ん中に絵本を（谷戸）

・他の事業にも見受けられるが公民館事業の開かれた実践を評価して行きたい。

・絵本を媒介として親子関係を確認することは時宜に適った事業と思われる。

とどけよう！子どもの心におはなしを（谷戸）

・子が親になり又親がその子に読み聞かせをする世代間で継続されて行くことは有意義である。

女性講座 キモチつながるここちよく（ひばりが丘）

・子育て中の女性を含め現代に生きる女性がどのような関係を持ち、事業を展開していくか興味を持っている。

(2) 事業報告書について

親子リトミック講座 音に合わせて愉しくからだを動かそう（ひばりが丘）

・閉塞感のある家庭の中で人と触れ合い出会いの場を作っていることを評価したい。

・講座の運営について前半と後半で評価が違っている。アンケートには見当たらないが理由を伺いたい。

3回では短いと言う意見があった。目標の達成度の中に記載されている。

親子で体験！防災講座（ひばりが丘）

・ロビー展示を活用、講座から派生する展開が上手く生かされている。

(事業全体の意見)

- ・一人暮らし高齢者が公民館に足を運ぶ事業を是非企画していただきたい。
- ・青少年事業も盛りだくさんあり、夏休みの課題解決として有効に活用してもらいたい。
- ・防災講座は様々な角度からアプローチをかけて行くことが意識づけに繋がる。

4. 協議事項（『○』は委員質疑・意見、『・』は職員説明）

(1) 公民館のチラシ及びポスター掲示の指標（案）について

・公運審から頂いた意見を反映して次回成案を配布したい。

(2) 東京都公民館大会に向けて

・8月までに要項を作成する。午後の分科会は須間田委員が発表する。

5. 事務連絡及び情報交換（『○』は委員質疑・意見、『・』は職員説明）

・「公共施設の適正配置」、「事業評価」、「防災マニュアルの作成」、以上3点について現在の検討状況を説明する。

1. 公共施設の適正配置は、基本計画・実行計画で示された取組項目について、公民館職員PTを立ち上げ分析・課題整理を行っているところである。

取組項目としては、1 田無公民館の耐震対応、2 他の施設や事業との役割分担・機能連携、3 芝久保公民館の一部転用等の検討、4 利便性の向上と管理運営体制の見直し等である。

25年度には公民館職員PTの検討結果を公運審、市民説明会等で説明、意見交換を行う予定である。

2. 事業評価は、学級・講座は職員自身所定の様式で実施しているが、今後はその他の項目の具体的な評価方法や公運審用の評価表の作成について検討していく予定である。

3. 防災マニュアルの作成は、危機管理室では東日本大震災を受けた地域防災計画の改定に向けた事前調査を実施しているところであるが、公民館としては、まずは火災・地震・犯罪対応時の初動体制マニュアルを作成していく。そのための公民館職員PTを立ち上げたところである。

○公共施設適正化の進捗状況は適宜情報を頂きたい。

○6館共通の防災時の対応、学校を含め地域防災マニュアルの進捗状況を逐次報告頂きたい。

・公運審にも情報を提供する。

- 災害時の初動体制については嘱託職員も含まれるのか、
 - ・嘱託職員も災害時の対応協力を求める予定。土日、夜間対応も想定して計画を作成する。

- 地域の中で人との関係を維持する社会教育が必要な現在、計画に反映する必要がある。
 - ・教育計画策定会議、その他会議のなかで意見表明をする。

- 公運審でまとめた意見を提案、建議として文書で提出することも必要

- 受益者負担を導入しても公民館には還元されない。

- 公民館全体で向き合うプロジェクトチームは評価したい。
 - ・データを根拠に客観的に現状を整理していく。
 - ・署名に協力頂いた陸前高田市の被災公民館が震災遺産としての保存方針が示された。

- 谷戸まつりの記録誌を配布する。義捐金は南相馬市に送付した。

次回の日程について

第5回定例会 8月29日（水曜日） 18時30分 於：田無公民館 第二学習室